

徳島大学の学士課程における教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

徳島大学は、学位授与の方針で示す能力をもった人材を育成するために、以下の方針で教育課程を編成・実施します。

1. 順次性のある体系的な教育課程の編成

文化、社会と自然に関する幅広い知識を身につけるとともに、それらを複眼的かつ論理的に分析・思考し主体的に判断する能力や倫理観を養うために、教養教育科目ならびに専門教育科目を通して順次性のある体系的な教育課程を編成します。

2. 多様で実効的な教育方法の実践

他者と協調・協働して社会の発展に貢献する能力、さらには生涯にわたって学び続け自立かつ率先して課題解決にあたる能力を養うために、アクティブ・ラーニングを含めた人間力を育む多様で実効的な教育方法を実践します。

3. 単位制度の実質化および厳格な成績評価

シラバスの充実化や登録単位数の上限設定などを通して十分な学修時間を確保し、単位制度の実質化を図るとともに、明確化された到達目標と成績評価基準に基づいた厳格な成績評価を行います。